# 2章 方程式と不等式

問 1

$$(1) 3x - 5 > x + 3$$

$$3x - x > 3 + 5$$

$$(2) x - 4 \le 3 - 2x$$

$$x + 2x \leq 3 + 4$$

$$3x \leq 7$$

$$x \leq \frac{7}{3}$$

$$(3) 2x + 3 \ge 3x - 7$$

$$2x - 3x \ge -7 - 3$$

$$-x \ge -10$$

$$x \leq 10$$

$$(4) 2x + 5 < \frac{x-5}{3}$$

両辺に3をかけて,

$$3(2x+5) < x-5$$

$$6x + 15 < x - 5$$

$$6x - x < -5 - 15$$

$$5x < -20$$

$$x < -4$$

問 2

りんごの個数をx個とすると、柿の個数は7-x個. したがって,不等式は以下のようになる.

$$110x + 80(7 - x) \le 700$$

両辺を10で割ると,

$$11x + 8(7 - x) \le 70$$

$$11x + 56 - 8x \le 70$$

$$3x \le 70 - 56$$

$$3x \le 14$$

$$x \le 4.666 \dots$$

よって、4個まで買える.

問3 上の式を①, 下の式を②とする.

(1) ①を解くと

$$x + 2 > 1$$

$$x > -1$$

②を解くと

$$x + 6 > 2(x + 1)$$

$$x + 6 > 2x + 2$$

$$x - 2x > 2 - 6$$

$$-x > -4$$

よって, 
$$-1 < x < 4$$

(2) ①を解くと

$$3x + 6 < 4$$

$$3x < 4 - 6$$

$$3x < -2$$

$$x < -\frac{2}{3}$$

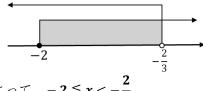
②を解くと

$$x + 1 \leq 4x + 7$$

$$x - 4x \le 7 - 1$$

$$-3x \le 6$$

$$x \ge -2$$



よって, 
$$-2 \le x < -\frac{2}{3}$$

(3) ①を解くと

$$2x + 3 \le 3x - 1$$

$$2x - 3x \leq -1 - 3$$

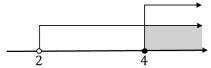
$$-x \leq -4$$

$$x \ge 4$$

②を解くと,

$$x - 2 > 4 - 2x$$

$$x + 2x > 4 + 2$$
$$3x > 6$$
$$x > 2$$



よって,  $x \ge 4$ 

#### (4) ①を解くと

$$3(x-1) \le x+7$$
$$3x-3 \le x+7$$

$$3x - x \le 7 + 3$$

$$2x \le 10$$

$$x \le 5$$

②を解くと

$$\frac{x-1}{2} \le \frac{4}{3}x + 1$$

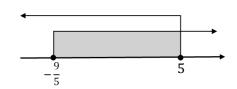
$$\frac{6(x-1)}{2} \le 6\left(\frac{4}{3}x+1\right)$$

$$3x - 3 \le 8x + 6$$

$$3x - 8x \le 6 + 3$$

$$-5x \leq 9$$

$$x \ge -\frac{9}{5}$$



よって、
$$-\frac{9}{5} \le x \le 5$$

#### 問4

$$(1) x^2 - 7x + 10 < 0$$

$$(x-2)(x-5)<0$$

$$(2) -2x^2 + x + 1 < 0$$

両辺に-1をかけて,

$$2x^2 - x - 1 > 0$$

$$(2x+1)(x-1) > 0$$

よって, 
$$x<-\frac{1}{2}$$
,  $x>1$ 

(3) 
$$-x^2 + 9 \ge 0$$
  
両辺に $-1$ をかけて,  
 $x^2 - 9 \le 0$ 

$$(x+3)(x-3) \le 0$$

よって、
$$-3 \le x \le 3$$

$$(4) 3x^2 + 11x + 6 \ge 0$$

$$(3x+2)(x+3) \ge 0$$

よって, 
$$x \le -3$$
,  $x \ge -\frac{2}{3}$ 

## 問5

$$(1) (x-2)(x+1)(2x+1) > 0$$

$$P(x) = (x-2)(x+1)(2x+1)$$
とおく.

$$P(x) = 0$$
 になるのは,  $x = -1$ ,  $-\frac{1}{2}$ ,  $2$  のとき.

各区間における因数の符号を調べると表のようになる.

х	•••	-1	•••	$-\frac{1}{2}$	•••	2	•••
x + 1	-	0	+	+	+	+	+
2x + 1	_	_	_	0	+	+	+
<i>x</i> – 2	_	_	_	_	_	0	+
P(x)	_	0	+	0	_	0	+

表より, 
$$-1 < x < -\frac{1}{2}$$
,  $x > 2$ 

$$(2) x^3 + 2x^2 - 5x - 6 \le 0$$

$$P(2) = 0$$
となるので、 $P(x)$ は $x - 2$ で割り切れる.

$$= (x - 2)(x + 1)(x + 3)$$

P(x) = 0となるのは, x = -3, -1, 2のとき.

各区間における因数の符号を調べると表のようになる.

x	•••	-3	•••	-1	•••	2	•••
<i>x</i> + 3	ı	0	+	+	+	+	+
<i>x</i> + 1	_	_	_	0	+	+	+
x-2	_	_	_	_	_	0	+
P(x)	_	0	+	0	_	0	+

表より,  $x \le -3$ ,  $-1 \le x \le 2$ 

問 6  $a^2 \ge 1$ を証明 $\rightarrow a^2 - 1 \ge 0$ を示せばよい.

左辺 = 右辺= 
$$a^2 - 1$$

$$= (a+1)(a-1)$$

ここで、 $a \ge 1$ より

 $a + 1 \ge 2 > 0$ ,  $a - 1 \ge 0$ 

よって,  $(a+1)(a-1) \ge 0$ 

したがって,  $a^2 \ge 1$ 

また, 等号が成り立つのはa+1=0かa-1=0のとき.

 $a \ge 1$ より, a = 1のときに成り立つ.

#### 問 7

a+c>b+dを証明 $\rightarrow$ (a+c)-(b+d)>0を示せばよい.

左辺 = 右辺 = 
$$(a+c) - (b+d)$$
  
=  $a+c-b-d$   
=  $(a-b)+(c-d)$   
ここで、 $a > b$ より $(a-b) > 0$   
 $c > d$ より $(c-d) > 0$   
よって、 $(a-b)+(c-d) > 0$   
したがって、 $a+c > b+d$ 

#### 問8

また、等号が成り立つのは、ay - bx = 0のとき. すなわち、ay = bxのときに成り立つ.

#### 問 9

(1) 
$$x^2 - 4x + 4 \ge 0$$
  
左辺 =  $x^2 - 4x + 4$   
=  $(x - 2)^2$   
ここで、 $(x - 2)^2 \ge 0$ より、 $x^2 - 4x + 4 \ge 0$ 

ここで, 
$$(x-3)^2 \ge 0$$
より,  $(x-3)^2 + 1 \ge 1$   
よって,  $x^2 - 6x + 10 > 0$ 

## 問 10

$$(1) \ a + \frac{4}{a} \ge 4$$

$$a > 0 \ \ \ \ \ \ \ \ \frac{4}{a} > 0$$

相加・相乗平均の大小関係より

$$a + \frac{4}{a} \ge 2\sqrt{a \cdot \frac{4}{a}} = 2\sqrt{4} = 4$$

よって, 
$$a + \frac{4}{a} \ge 4$$

また, 等号が成り立つのは

$$a = \frac{4}{a} \, \downarrow \, 0 \, a^2 = 4$$

a > 0より, a = 2のとき等号が成り立つ.

$$(2)$$
  $\frac{b}{a} + \frac{a}{b} \ge 2$ 

$$a > 0$$
,  $b > 0$  より $\frac{b}{a} > 0$ ,  $\frac{a}{b} > 0$  なので

相加・相乗平均の大小関係より

$$\frac{b}{a} + \frac{a}{b} \ge 2\sqrt{\frac{b}{a} \cdot \frac{a}{b}} = 2$$

よって、
$$\frac{b}{a} + \frac{a}{b} \ge 2$$

また, 等号が成立するのは $\frac{b}{a} = \frac{a}{b}$ のとき.

したがって、a = bのとき等号が成立する.

#### 問 11

$$B = \{x \mid x^2 > 4, x$$
は整数 \}
$$= \{x \mid x^2 - 4 > 0, x$$
は整数 \}
$$= \{x \mid (x+2)(x-2) > 0, x$$
は整数 \}
$$= \{x \mid (x-2)(x-2) > 0, x$$
は整数 \}
$$= \{x \mid (x-2)(x-2) > 0, x$$
は整数 \}
$$= \{x \mid (x-2)(x-2) > 0, x$$
は整数 \}
$$= \{x \mid (x-2)(x-2) > 0, x$$
は整数 \}
$$= \{x \mid (x-2)(x-2) > 0, x$$
は整数 \}
$$= \{x \mid (x-2)(x-2) > 0, x$$
は整数 \}
$$= \{x \mid (x-2)(x-2) > 0, x$$
は整数 \}
$$= \{x \mid (x-2)(x-2) > 0, x$$
は整数 \}
$$= \{x \mid (x-2)(x-2) > 0, x$$
は整数 \}
$$= \{x \mid (x-2)(x-2) > 0, x$$
は整数 \}
$$= \{x \mid (x-2)(x-2) > 0, x$$
は整数 \}
$$= \{x \mid (x-2)(x-2) > 0, x$$
は整数 \}
$$= \{x \mid (x-2)(x-2) > 0, x$$
は整数 \}
$$= \{x \mid (x-2)(x-2) > 0, x$$
は整数 \}
$$= \{x \mid (x-2)(x-2) > 0, x$$
は整数 \}
$$= \{x \mid (x-2)(x-2) > 0, x$$
は整数 \}
$$= \{x \mid (x-2)(x-2) > 0, x$$
は整数 \}
$$= \{x \mid (x-2)(x-2) > 0, x$$
は整数 \}
$$= \{x \mid (x-2)(x-2) > 0, x$$
は整数 \}
$$= \{x \mid (x-2)(x-2) > 0, x$$
は整数 \}
$$= \{x \mid (x-2)(x-2) > 0, x$$
は整数 \}
$$= \{x \mid (x-2)(x-2) > 0, x$$
は整数 \}
$$= \{x \mid (x-2)(x-2) > 0, x$$
は整数 \}
$$= \{x \mid (x-2)(x-2) > 0, x$$
は整数 \}

#### 問 12

- (1)  $A \cap B = \{2, 5\}$
- (2)  $A \cup B = \{1, 2, 3, 4, 5, 7, 8\}$
- (4) 求める集合は(2) の補集合であるからĀ∪B = {6,9,10}

### 問 13

### 問 14

- (1) 真
- (2) 偽 反例:x = -3など

#### 問 15

- (1) x = y  $\longrightarrow$  x + z = y + zよって,  $x + y \Leftrightarrow x + z = y + z$ であるから, **必要十分**条件.
- (2) ac = bc → a = b
   よって, ac = bc ← a = b
   であるから, 必要条件.
   ※ → の反例はa = 1, b = 2, c = 0など.
- (3) nは4の倍数 → nは2の倍数
   よって, nは4の倍数 ⇒ nは2の倍数
   であるから, 十分条件.
   ※ → × の反例はn = 2など.
- (4) ひし形である → 対角線が垂直に交わる よって,ひし形である⇒対角線が垂直に交わる であるから,十分条件.
   ※ ← × の反例は のようなとき.

問 16

与えられた条件の否定 $\overline{p}$ は $\lceil n$ は4の倍数ではない」また、 $U = \{1,2,3,4,5,6,7,8,9,10\}$ であるから  $\overline{P} = \{1,2,3,5,6,7,9,10\}$ 

#### 問 17

- (1) 与えられた条件の否定は「 $x \ge 1$ かつ $x \le 3$ 」 であるから、 $1 \le x \le 3$
- (2) 与えられた条件は、「整数nは4で割り切れ、 かつ5で割り切れる」であるから、この否定は 整数nは4で割り切れないか5で割り切れない

#### 問 18

逆 
$$xy < 0 \rightarrow x < 0$$
かつ $y > 0$   
裏  $x \ge 0$ または $y \le 0 \rightarrow xy \ge 0$   
対偶  $xy \ge 0 \rightarrow x \ge 0$ または $y \le 0$ 

#### 問 19

命題「mnが偶数ならば、mが偶数またはnが偶数」 対偶は「mもnも奇数ならば、mnは奇数」これを証明する。 mもnも奇数のとき、自然数a、bを用いて m=2a+1, n=2b+1と表すことができる。 mn=(2a+1)(2b+1)

$$nn = (2a + 1)(2b + 1)$$
$$= 4ab + 2a + 2b + 1$$
$$= 2(2ab + a + b) + 1$$

となりmnは奇数になる.

対偶が真なのでもとの命題も真である.